メディア産業の総合専門紙

# 文化通信

THE BUNKA NEWS

株式会社 文化通信社　©文化通信 2012

発行所　東京都文京区湯島2―4―3
ソフィアお茶の水302　〒113―0034
電話　03(3812)7466 FAX　03(3812)7465
振替口座00190―1―25372
【北海道】札幌市北区北7条西2―6　〒060―0807
電話　011(737)4166 FAX　011(726)4633
【中部】名古屋市東区東桜1―14―12　〒461―0005
電話・FAX　052(951)0348
【関西】大阪市北区西天満4―10―7　〒530―0047
電話・FAX　06(6364)9217
【九州】福岡市博多区博多駅前3―7―3―707
〒812―0011
電話・FAX　092(474)5461

## 今週の紙面から

**企画面**　8面

**近未来書店は情報発信力が不可欠**

出版物の製造から流通・販売までを巻き込んだ大きな変化の中で、元書店人・三浦崇典氏は新しい書店のビジネスモデルを作ろうとする「ＴＥＮＲＯ―ＩＮプロジェクト」を立ち上げた。「書店には未開の荒野が数多くある」と語る三浦氏が、そうした思いとともにプロジェクトについて寄稿した。

**JPO、「緊デジ」手応えある**　5

日本出版インフラセンター（ＪＰＯ）は6月18日、定時総会を開き、「コンテンツ緊急電子化事業」（緊デジ）とともに、「ネット書店に負けない書店の活性化」をテーマに書店活性化事業を行うなどとした事業計画を承認した。

琉球新報、電子新聞サービスを県内向けに拡大　2
東海TV、「死刑弁護人」劇場公開　4
日書連、マイナス予算に波乱の総会　6
北日本新聞、板倉氏が社長昇格　2
日販協北海道、道新加入で新たな展開へ　3
生活情報紙協、内堀氏会長に　4
絵本・日本P、絵本マイスター事業に着手　7

◆新聞2～3面◆デジタル・広告4面◆出版総合5面
◆出版流通・販売6面◆出版市場・商品7面

**文化通信『電子版』**

下記サイトからご購読いただけます。
■新聞オンライン.COM
http://www.shimbun-online.com/latest/Bunka_Tsushin.html
■富士山マガジンサービス
http://www.fujisan.co.jp/magazine/1281679829/

**Mobile文化通信**

iPhone版 好評配信中
App Storeから無料アプリ「Newsmart」をダウンロード後、同アプリ内から購読申し込みいただけます。《料金／月額1,000円》

**購読のお申し込み ――**
電話03-3812-7466 FAX03-3812-7465
mail：eigyou@bunkanews.co.jp

**文化通信オンライン情報サービス**
専門紙ならではの最新情報をメール配信
無料会員・有料会員（月額1,000円）募集中!!
詳しくは弊社ホームページで。
※データベースサービス「日経テレコン21」へも記事配信中!!

文化通信社のホームページ
https://www.bunkanews.jp/

# 税率維持、隣接権付与を

## 活字文化議連が声明

### 新聞協会・書協からヒアリング

超党派の国会議員でつくる活字文化議員連盟（会長＝山岡賢次衆院議員・民）は6月20日、国会内で総会を開き、新聞および出版物の消費税率に関して、「税率引き上げは『文字・活字文化振興法』の趣旨にも背き、理想の実現を阻む」などとして、「税率引き上げに断固反対し、現行税率の維持を求める」との声明を採択した。併せて、「出版者への著作隣接権付与を議員立法として提案し、その成立に努める」旨の声明も採択した。

同議連は席上、日本新聞協会と日本書籍出版協会の代表者から、税制に関する意見などをヒアリング。

新聞協会・秋山耿太郎会長（朝日新聞社社長）は▽欧米では、民主主義を支えるために、新聞や書籍にはゼロ税率や軽減税率を適用している▽知識課税は国民のリテラシーの弱体化を招く――などの観点から、新聞への軽減税率導入を求めた。

出版業界も同様に、軽減税率適用を要望するとともに、出版者への著作隣接権の付与を要請した。

新聞協会からは秋山会長ほか、税制対策特別委員会委員長の日経・喜多恒雄社長、同委員の毎日・朝比奈豊社長や読売新聞グループ本社・白石興二郎社長、税制PT座長の日経・長谷部剛常務ら計15人が出席。出版業界からは書協副理事長の佐藤隆信（新潮社社長）、菊池明郎（筑摩書房会長）の両氏、同常任理事の野間省伸氏（講談社社長）、同事務局長の樋口清一氏、文字・活字文化推進機構・肥田美代子理事長ら6人が出席した。

### 隣接権設定が適当

中川勉強会

超党派の国会議員、作家、出版業界関係者、図書館関係者などで、出版者への権利付与を検討している「印刷文化・電子文化の基盤整備に関する勉強会」（座長＝中川正春衆院議員・民）は6月20日、第5回会合を開き、「出版者に著作隣接権を設定することが適当」とする中間まとめ案の骨子を了承した。

会合では、中間まとめ案をもとに議論。勉強会事務局長の肥田美代子氏（文字・活字文化推進機構理事長）によると「今日のものが最初のたたき台」（中川座長）との位置づけ。「（案には）相当突っ込んだ意見が出された」という。

今後、会合での議論を中間まとめ案に反映させ修正を加えたうえで、それをもとに7月以降、公開討論会などを通して、経団連や作家、出版関係者ら広く国民に周知。来年の通常国会での法案成立を目指す。

立法措置について肥田事務局長は「議員立法か、閣法（内閣提出）か、また新法でいくのか著作権法改正でいくのかは未定」と述べた。

第3回会合での試案にも示された保護期間「25年」については、今後、根拠や必要性を幅広く慎重に検討していく。

また「隣接権があるとなぜ、電子書籍を中心とした出版物の流通が加速するのか」との質問に、同勉強会のワーキングチームのメンバーである村瀬拓男弁護士は、「権利を運用するには、出版物に関する著作権その他の権利がクリアになっていることが必要。そのため、出版者の段階できちんと権利処理して流通ルートに載せるというインセンティブが働く」と述べた。

桶田大介弁護士も、「紙の世界でやっていることを、そのまま電子の世界でもできる仕組み作り」と説明した。

### 中田社長コピペ問題で退任へ

#### 時事通信 後任は西澤取締役

西澤　豊氏

時事通信社は6月18日、臨時取締役会を開き、中田正博社長が今期限りで退任し、後任に西澤豊取締役を起用する人事を内定した。同社は5月28日、次期体制での中田社長続投、西澤取締役らの退任を内定していたが、同社記者が、他社の記事をコピーしてパソコン画面に貼り付け、それを参考に記事を作成、他社クレジットのまま配信した問題の責任をとった。6月30日開催の定時株主総会と取締役会で正式決定する。

今回、問題となったのは6月13日午前のワシントン支局発の記事。同支局記者は、共同通信社の配信記事をコピーして貼り付け、これを参考にしながら記事を書いたが、冒頭のクレジットは「共同」のまま配信された。同様の問題は、昨年1月にも別の部署で起きていた。

なお、中田氏は引き続き内外情勢調査会会長を務める。

中田社長のコメント　他社の記事をコピーし貼り付けることはそれ自体、記者として許されず、報道機関としての信用を大きく失墜させた。同様のことが昨年1月に他の部署でも発生しており、このような行為が繰り返されたことは極めて遺憾なことです。報道機関のトップとして監督責任を明確にし、信頼回復のための第一歩とする必要があると判断し、本日臨時取締役会を開き、今期限りで退任することを表明しました。ご迷惑をおかけした共同通信社をはじめ、配信先各社、読者の皆さまにお詫び申し上げます。全社一丸となって次期経営陣が再発防止、信頼回復に取り組むことを会話を交わす中で、震災の記憶が過去のものになっている印象を受ける。くり返される『復興』『絆』という言葉も、被災地が直面する様々な問題を包み隠して、思考遮断に陥る言葉に思える」と話し、「震災が私たちに突きつけた教訓、問いかけを風化させないことが私の務め。これからも被災地に通い続け、彼らの思いを記したい」と強調した。

### 有効活用で地域に還元

#### 石巻日日に復興支援ファンドが投資

宮城県石巻市などを発行エリアとする地域紙・石巻日日新聞社はこのほど、信金中央金庫などが出資する東日本大震災の復興支援ファンド「投資事業有限責任組合しんきんの絆」から、金融支援を受けることが決まった。6月15日、信金中央金庫が発表した。

信金中央金庫と信金キャピタルが共同出資する同ファンドは、東日本大震災の被災地域で再生に取り組む中小企業への投資などを通じて、地域経済の復興を支援する目的で昨年12月に設立。出資規模は50億円で、岩手、宮城、福島県を中心に被災地域にある信金取引先の中小企業が投資先となる。石巻日日は石巻信用金庫の取引先。

今回発表された投資先は石巻日日のほか、宮城県や岩手県内にある3社。投資予定額は非公表だが、1社数千万円から1億円とされる。投資は資本に近く、返済順位が低い劣後ローンや優先株の形をとる。存続期間は12年間で、投資期間は5年間。

今年10月に100周年を迎える石巻日日は、震災で輸転機が使えない中、手書きの壁新聞を作って、避難所などに貼り出し、住民にニュースを伝え続けた。新聞製作再開後も、長期間、避難所へ新聞を無料配布。その活動は日本国内外で大きな反響を呼んだ。

信金中央金庫では、このように地域にとって不可欠な事業を展開していることを評価。同社を応援することは、同ファンドの設立趣旨に合致しているとして投資を決定した。

この決定を受け、石巻日日・武内宏之常務は「現在も発行部数は震災で半減した約7500部のまま。新聞発行を続ける運転資金として役立てたい」としたうえで、「この資金を有効活用し、私たちの地域に還元したいというのが全社員の思いだ」と語っている。

### 新専務理事に細谷氏

ABC協会

日本ABC協会の定時社員総会が6月20日、東京・千代田区のプレスセンターホールで開かれ、新しい専務理事に細谷和夫事務局長を選任した。細谷氏は事務局長も兼務する。専務理事を12年間務めた岡本明寿氏は退任した。

総会後に開かれた懇親パーティーで細谷専務理事があいさつ。「デジタル技術の進展など環境が大きく変化している中で、ABC協会の舵取りを任され、責任の重さを痛感している。アンテナを張り巡らせて、皆さんのお役に立てるよう頑張りたい」と決意を語った。

続いて、同協会理事の河北新報社・一力雅彦社長があいさつ。「今年は協会設立60周年の節目の年。前専務理事の岡本氏は、1963年以来、ABC協会の発展に多大な貢献をされた。長年の尽力に敬意を表したい」などと語り、乾杯の音頭をとった。

細谷新専務理事

**ツイッターアカウント**
@bunkanews

同総務、労務、法務担当（大阪支社長兼総務部長兼堺支局長）
大室　真生
監査役
村山　義久
※中田社長のほか、栢森哲也取締役（社長室、マスメディア、国際担当）、鮫島忠男取締役（システム開発、関連事業担当、業務担当補佐）は退任する。

◇　◇　◇

**西澤　豊**（にしざわ・ゆたか）氏　1950年（昭25）生まれ。明治大学卒。74年時事通信社入社。ソウル特派員、政治部次長、長野支局長、横浜総局長、経理局長などを経て08年取締役同財務・経理、システム開発担当（デジタルメディア事業本部長）、小松　俊樹

お約束します。
〈新役員体制〉
代表取締役社長（取締役総務、労務、法務担当）
西澤　豊
取締役編集、解説委員、デジタルメディア、マーケット事業担当（取締役業務担当、デジタルメディア担当補佐）
松崎　秀樹
同社長室、マスメディア担当（同編集、解説委員、財務・経理担当）
谷　定文
同業務・関連事業担当、業務局長（業務局長）
松永　努

左から武内常務、佐藤局長、萩尾部長委員、瀬口論説委員

**記者クラブ賞・特別賞受賞記念講演会**

## 「３・11大震災」あの時、そして今

### 記者クラブ賞／毎日新聞東京本社　萩尾信也社会部部長委員

### 「これからも被災地の思い記したい」

2012年度の日本記者クラブ賞を受賞した記者らによる記念講演会「『3・11大震災』あの時、そして今」が6月15日、東京・千代田区のプレスセンターホールで開かれた。同賞受賞の毎日新聞東京本社・萩尾信也社会部部長委員と、新設された特別賞を受賞した福島中央テレビ、石巻日日新聞社の代表者が登壇し、震災直後からの取材・報道、そしてこれからを語った。

◇　◇　◇　◇　◇

萩尾記者は、震災の直後から三陸沿岸に住み込み、長期間継続して被災者を取材。方言を生かした印象深い文章で、企画「三陸物語」を11年5月から12年3月まで20日1回連載した。同氏は取材で出会った被災者の言葉などを、ときおり涙ぐみながら紹介。

「何のために現地で取材を続けるのか何度も問われ、自問してきた。取材が相手の心中に手を突っ込んで、かき回すような仕事であることは自覚している。被災者の体験を、薄皮をはぐようにしつこく問いかけ、答えてもらった」と振り返り、「だから、この賞の本当の受賞者は今も被災地で暮らしている人、亡くなった人、そして彼らの傍らに寄り添っている人だ」と語った。

また、「いま、都会に住む人と被災地以外が分断しないようにしなければ」と語った。

同じく特別賞の石巻日日新聞は、新聞発行ができない中、手書きの壁新聞で被災者に情報を伝え続け、国内外で大きな反響を呼んだ。武内宏之常務取締役報道担当は、「壁新聞を6日間発行したが、3日目からは掲載する記事の優先順位を変え、被災者に『希望』が伝わる記事を前面に出した。しかし、新聞社としてそれで良かったのか、今も悩んでいる。（被災規模などの）現実をしっかりと伝えるのも新聞の役割だからだ」と心の内を吐露した。

また、「被災地の復旧はどんどん進むだろうが、被災者の心は、まだ『あの日』から抜け出せないでいるのが現実だ。『復興』という言葉の受け止め方は被災者それぞれで違うので、地元紙として（その言葉を）安易に使えない」と話した。

司会の東京新聞・瀬口晴義論説委員が、風化しつつある状況について聞くと、武内氏は「世間とはそういうものだろうという気持ちもある。あきらめとかでなく、被災地に向いていた人も彼らの生活や仕事があるので。ただ、そんな状況だからこそ、私たちもそろそろ自分の足で立つことを考える時期にきているのでは」と語った。

### 特別賞受賞／新石巻日日聞　武内宏之常務

### 「復興の言葉、安易に使えない」

特別賞を受賞した福島中央テレビは、東京電力福島第一原発事故で、1号機水素爆発の瞬間を世界のメディアで唯一、自社の監視カメラで撮影した。佐藤崇報道制作局長は、「福島はこの1年、住む場所、産業、人々の心などが『分断』されて生きてきた。それが段々と孤立、対立になっている」と状況を説明。そのうえで、「震災から2年目で、メディアの課題も大きい。昨年は起きたことを伝えればよかったが、現在はつらい状況が変わらず続く。伝えることも次第に少なくなり、人の心からどんどん消えてしまう。せめて被災地と被災地以外が分断しないようにしなければ」と語った。

同じく特別賞の石巻日日新聞は、新聞発行ができない中、手書きの壁新聞で被災者に情報を伝え続け、国内外で大きな反響を呼んだ。武内宏之常務取締役報道担当は、「壁新聞を6日間発行したが、3日目からは掲載する記事の優先順位を変え、被災者に『希望』が伝わる記事を前面に出した。しかし、新聞社としてそれで良かったのか、今も悩んでいる。（被災規模などの）現実をしっかりと伝えるのも新聞の役割だからだ」と心の内を吐露した。

また、「被災地の復旧はどんどん進むだろうが、被災者の心は、まだ『あの日』から抜け出せないでいるのが現実だ。『復興』という言葉の受け止め方は被災者それぞれで違うので、地元紙として（その言葉を）安易に使えない」と話した。

司会の東京新聞・瀬口晴義論説委員が、風化しつつある状況について聞くと、武内氏は「世間とはそういうものだろうという気持ちもある。あきらめとかでなく、被災地に向いていた人も彼らの生活や仕事があるので。ただ、そんな状況だからこそ、私たちもそろそろ自分の足で立つことを考える時期にきているのでは」と語った。

### 日本３代表が講演

#### 第29回―ＩＰＡ総会

国際出版連合（IPA）の第29回世界大会が6月12～14日、南アフリカのケープタウンで開催され、各国の大手出版社や出版団体、著作権専門家など約200人が参加した。

日本からは前IPA副会長の金原優氏（医学書院）をはじめ12人が出席。デジタル時代の著作権、出版の自由と海賊版との戦い、付加価値税、教育出版などについて活発な議論が行われた。

オープニングセッションで「新時代における出版」と題して野間省伸氏（講談社）が東日本大震災の話を織り交ぜながら、出版の力について講演を行ったほか、相賀信宏氏（小学館）が「サイバーキッズのための児童書」について、さらに、井村寿人氏（勁草書房）が議長となって、山本憲央氏（中央経済社）が「紙からデジタルへの転換期の課題」についてスピーチした。

次回は、2014年春にタイのバンコクで開催。

文庫書き下ろし
おかげさまでシリーズ累計40万部突破!!
真夜中のパン屋さん
午前1時の恋泥棒
大沼紀子
Noriko Oonuma
定価672円(税込)
不器用な人たちの切なく愛おしい恋愛模様。どうなるバレンタイン!?
待望の第2弾!
"まよパン"シリーズ最新刊発売中!!
「歪んどるのも、悪いばっかりとは限らんよ」
「手を放すその瞬間も、愛することだよ」
「殴られたことがないから上手に殴れないんだよ。幸せしか知らないから、ちょっとした不幸にすぐひるむんだよ」
第1弾!
午前0時のレシピ
真夜中のお客様がもたらす困った事件をパン屋さんが解決!?
ほっこりして、心が優しくなれる物語
定価651円(税込)

大好評!!
ポプラ文庫
目白 P.6　大塚 P.12　駒込 P.280　田端 P.124　日暮里 P.53　上野 P.199
山手線探偵
七尾与史
文庫書き下ろし
定価650円(税込)
まわる各駅停車と消えたチワワの謎
山手線に乗れば会えるかもしれない!?
神出鬼没の名探偵？
助手は小学生&自称ミステリ作家??
そして――謎解きはなぜか電車内???
本当にどんな事件でも解決できるの!?
『死亡フラグが立ちました!』(宝島社)
『ドS刑事』(幻冬舎)で大人気の著者、最新作!!
新宿 P.301　代々木 P.251　恵比寿 P.142　東京 P.311　有楽町 P.270
謎の名探偵
都市伝説と"ウワサ"される霧村雨。掴みどころがなく飄々としているが、推理は鋭い。ある理由により山手線に乗り続けているのだが……。
自称ミステリ作家
霧村雨の大学時代の同級生、三木幹夫。通称・ミキミキさん。顔はいいが、見当違いな推理ばかり働かせて、事件を混乱させる。
ランドセル助手
道山シホ、小学5年生。山手線で学校に通っている。頼りない2人の男性のために、謎解きの進行役を務める。
たちまち4万部!
ほんわか下町人情満載のユーモアミステリ
運命が見える女たち　井形慶子
霊能力は本当に存在するのか!? 潜入取材の末にたどり着いた真実とは!? 衝撃のノンフィクション!
定価714円(税込)
てのひら怪談　加門七海・福澤徹三・東雅夫 編
八〇〇字の怪談、ここに極まる! 世にも小さな物語「てのひら怪談」シリーズ、堂々の完結!
定価672円(税込)
都道府県の持ちかた　バカリズム
人気芸人の異色のネタがついに文庫化! 47都道府県の持ちかたとマニアックなデータを収録、笑いながら地理を学べる異色作!
定価630円(税込)

ポプラ社　〒160-8565 東京都新宿区大京町22-1　販売局：TEL03(3357)2212　FAX03(3359)2359
お近くの書店でお求めください。http://www.poplar.co.jp　※お近くに書店がない場合はTEL0120-12-7764までどうぞ。
PR小説誌「asta*」http://www.poplarbeech.com/asta/index.html　飛鳥井千砂さん、小川糸さん、加藤千恵さん、新連載!